

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	令和新時代を拓く東山道×7summitプロジェクト
事業主体 (連絡先)	阿智村 0265-43-2220
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,835,140 円 (うち支援金: 2,059,000 円)

事業内容

阿智村は「日本一の星空」による誘客に取り組んでいるが、昼間の観光コンテンツが課題である。コンテンツの充実を目指し、村の重要な資源である東山道と山岳観光に着目し、昨年度の整備をした箇所の看板設置とPR用のショートムービーを作成した。

開催を検討していた国定公園指定記念に伴うイベントは新型コロナウイルス感染症の拡大により中止したが、村民対象に国定公園になったことを周知できた。

東山道の講習会については新型コロナウイルス感染症の拡大により外部講師を招聘しての開催はできなかったが、オンライン講座や企画展示を行い学習を深めることができた。

事業効果

①東山道や登山道に看板を設置したことにより、来訪者が迷わずコンテンツを楽しむことができた。

②ショートムービーにより、東山道を昼間の滞在コンテンツとして紹介ができる。

阿智セブンサミットのパンフレット作成により知名度の向上および関連施設等への誘客に貢献できる。

③新型コロナウイルス感染症の影響もあり本事業による効果だけではないが、園原地区への入込客はR2に比べ3万人近く増加した。

阿智セブンサミットの認定バッジについては、前年度180個程の交付だったが今年度は330個程交付しており、2倍近く増加した。

今後の取り組み

本年度作成したショートムービー配信やパンフレット配布により、「日本一の星空」以外の村内滞在方法の周知及び地域内消費へつなげていく。

東山道に関する学習会等の継続的な開催により、地元ガイドの育成・コンテンツのブラッシュアップを図り、阿智村の昼間を楽しむコンテンツに仕上げていく。



【東山道企画展示の様子】

【目標・ねらい】

- ①昼間の観光資源の活用
- ②観光資源のPR
- ③昼間のコンテンツによる来訪者増加

※自己評価【 B 】

【理由】

新型コロナウイルス感染症の影響のため2019年度以前の水準とは行かないが、前年より来訪者が増加した。

セブンサミットの認定バッジの交付数の増加等を鑑み、本事業による誘客もできたと推察される。